



参加無料
事前申込制

日本学士院 第79回公開講演会

THE JAPAN ACADEMY 79TH PUBLIC LECTURES

2025年5月17日 | 土 | 午後1時~3時30分
(各講演は質疑応答を含め60分)

会場：浜松科学館

※駐車場はございません。最寄りの一般駐車場または公共交通機関をご利用ください。

定員

会場：140名 (先着順)
オンライン：500名 (先着順)

会場とオンラインにて同時開催

会場・オンライン申込



詳細は裏面をご覧ください >>

01 明治の静岡

—開化・伝統・経済成長—



齋藤 修

日本学士院会員
一橋大学名誉教授

司会：藤田昌久 会員

Osamu Saito

02 強くて賢い 半導体が創る 未来社会



天野 浩

日本学士院会員
名古屋大学未来材料・システム研究所
未来エレクトロニクス集積研究センター
センター長・教授
浜松科学館名誉館長

司会：金出武雄 会員

Hiroshi Amano

日本学士院第79回公開講演会

日本学士院では、会員を講師に毎年春・秋2回講演会を実施しており、専門分野の異なる講師により研究成果を社会にわかりやすく発信しています。たくさんの方からのお申込みを心よりお待ちしております。

講演1

明治の静岡

—開化・伝統・経済成長—

司会：藤田昌久 会員

講師：齋藤 修 会員

経済学、経済発展論、人口学それぞれの分野で追及されてきた普遍命題と、実証的な歴史研究が明らかにしてきた発展過程における現実の多様性とを、国民所得論などの分析用具を利用しつつ、統一的・整合的に説明し、世界経済史を再構築した。

講演要旨

21世紀の静岡は、人口一人あたり県民所得の全国順位が5位以内に入る豊かな県ですが、明治時代までさかのぼって見ますと、その値が全国平均を少し下回る、中間グループを構成する県でした。この統計的事実は、静岡県経済の長期的な成長率が全国平均のそれよりも高かったことを意味します。講演においては、この県経済成長の過程、すなわち成長のスピードがどう変化したかと、それに伴って産業構造がどのように変容したかの過程をたどり、明治・大正の時代にその淵源を探ります。それにより、幕末開港と明治維新がもたらした「開化」のインパクトと、それへの対応にあたって「伝統」がいかなる役割を果たしたのかとを比較考量したいと思います。

申込方法

1 会場 定員140名 [先着順]

本院HP <https://www.japan-acad.go.jp/japanese/news/2025/033101.html> からお申し込み下さい。

※下記のいずれかの方法で、会場希望と明記のうえ、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレス等の連絡先を記載してお申し込みいただくこともできます。

メール gkkouen@mext.go.jp

FAX 03-3822-2105

往復ハガキ 〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32 日本学士院公開講演会係

2 オンライン 定員500名 [先着順]

本院HPよりお申し込みください。

会場案内図(アクセス)

〒430-0923 静岡県浜松市中央区北寺島町256-3 浜松科学館

●JR東海道本線「浜松駅」から東へ徒歩約7分

※駐車場はございません。最寄りの一般駐車場または公共交通機関をご利用ください。

問合せ先

日本学士院事務室

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32 TEL：03-3822-2101

講演2

強くて賢い半導体が創る 未来社会

司会：金出武雄 会員

講師：天野 浩 会員

GaN系結晶を高品質化しP型化する方法を考案することにより長期にわたり実現できなかった青色LEDを実現し、表示や照明技術を一変させた。また、高速の電力制御用の素子の研究開発などでも先導的役割を果たしている。

講演要旨

次世代の半導体産業を担うと期待されている窒化ガリウム(GaN)について紹介します。現在照明のほとんどはこのGaNによるLEDが用いられています。その応用は照明に留まりません。パワー半導体として用いることによって、LEDを超える省エネや再生可能エネルギーの普及が促進されます。半導体と言えばシリコンですが、シリコンは演算や記憶が得意なことから、人間で言うと頭脳の役割を果たします。一方、パワー半導体というのは電力をシステムに供給する役割を果たすので、人間で言うと心臓の役割を果たす半導体です。GaNが強くて賢い理由は何か、なぜパワー半導体として期待されるのか、どのような未来が皆さんを待っているのか、現在のGaN研究開発の状況を交えて紹介します。

MAP

